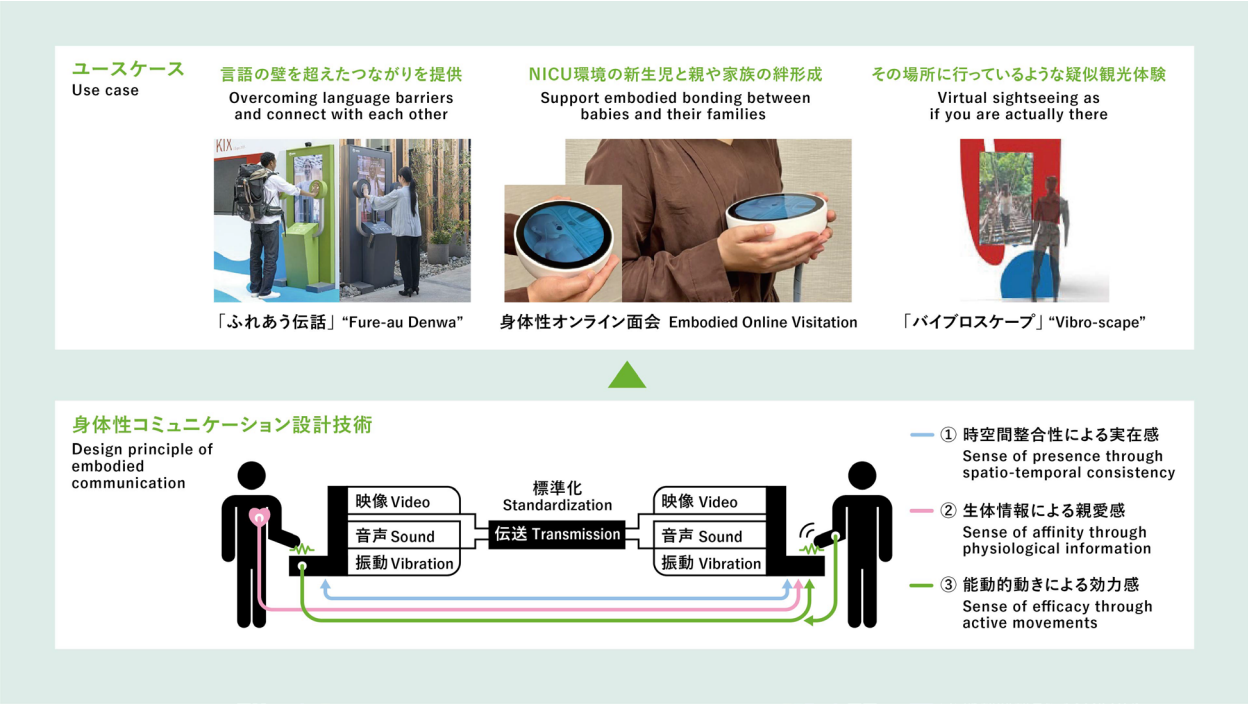
時空を隔てた人や場所に触れる体験によるつながりでウェルビーイングを実現します

振動触覚伝送によるつながり感の醸成

背 景 – 技術課題

高精細な映像や音声によるオンラインコミュニケーションや没入体験は多くあり、遠く離れた人同士がつながり合うことはできるようになりました。しかしながら、目に見えても、心理的に感じる距離は遠いままという現状があります。



研 究 目 標 – 成果

そばに居ないと得られない触覚の情報を映像・音声と同期して伝送・再現することで、対象との心理的距離を縮め、人や地域のつながりに関わる社会課題を解決します。

技 術 ポ イ ン ト

01 要素技術

人の認知・心理特性に関する研究成果・知見に基づき、人や場所とのつながり感（実在感・親愛感・効力感）を生み出すための設計指針を確立

02 市中技術差異点

振動情報を音声として収録し音声チャネルに重畳して伝送することにより、システム全体を簡素化し、設備・運用コストを削減

利用シーン	コミュニケーションサービス	**R&Dフェーズ**	研究
技術確立予定時期	FY25-26	**ビジネス化予定時期**	FY25-26

【出展企業】
NTT株式会社 社会情報研究所

【問い合わせ先】
Well-being研究プロジェクト

【共同出展社/社外連携先】
学校法人 岩手医科大学、株式会社日本デザインセンター、
NTTアーバンソリューションズ株式会社

【関連Link】
https://www.kecl.ntt.co.jp/openhouse/2025/exhibition_16.html